

たかつきの 財政状況

ID 067945



問 財務管理室
Tel.674-7352

令和3年度の一般会計、特別会計および公営企業会計の決算がまとまりましたのでお知らせします。

※公営企業会計は22ページ

歳入・歳出ともに減少

令和3年度普通会計は、歳入が1,503億2,600万円、歳出が1,459億9,600万円となり、特別定額給付金事業を実施した前年度と比較すると歳入、歳出ともに減少しました。しかし、財政規模は新型コロナ対策費用の増加によって、引き続き拡大傾向にあります。なお、実質収支は、25億7,500万円の黒字ですが、このうち16億3,000万円は国に返還する金額を含んでいます。

決算の詳細は市ホームページをご覧ください。

普通会計 (千円)

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
150,325,713	145,995,891	1,755,185	2,574,637

普通会計…各地方公共団体の財政状況を同一の基準で比較できるように、公営事業以外の会計を一定のルールに基づいて取りまとめたもの。高槻市では、一般会計、公園墓地特別会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計が含まれる

一般会計 (千円)

歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
150,146,625	145,925,118	1,648,801	2,572,706

一般会計…福祉、医療、教育や都市環境の整備を行うための会計。市税が主に使われる

特別会計 (千円)

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越財源	実質収支
公園墓地	380,782	377,185	0	3,597
駐車場	1,538,619	426,823	0	1,111,796
国民健康保険	37,245,136	36,701,376	0	543,760
介護保険	31,592,956	30,650,933	0	942,023
後期高齢者医療	6,709,485	6,498,536	0	210,948
母子父子寡婦福祉資金貸付金	128,061	23,343	0	104,718
財産区	4,886,260	164,857	0	4,721,403

特別会計…利用料金や保険料収入などを財源とする特定の事業に関する会計。原則、独立採算制をとる

※表示単位未満は四捨五入

新型コロナ対策 主な支援施策

国、府の支援策に加え、市独自の支援策(★印)を実施し、生活・経済支援、感染予防に取り組んできました。

※表示単位未満は四捨五入

市民

- 子ども1人当たり10万円の子育て世帯臨時特別給付金を支給(47億1,938万円)
- 子育て世帯臨時特別給付金の対象外となる子ども1人当たり10万円を支給★(7億1,041万円)
- 住民税非課税世帯と家計急変世帯へ1世帯当たり10万円を支給(34億7,331万円)
- 低所得の子育て世帯(ひとり親世帯)へ子ども1人当たり5万円を支給(1億9,539万円)
- 低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外)へ子ども1人当たり5万円を支給(1億9,617万円)
- 新型コロナワクチン接種を実施(43億6,524万円)



事業費総額
**186億
1,657万円**



商品券「スクラム高槻 地元のお店応援券」第2弾

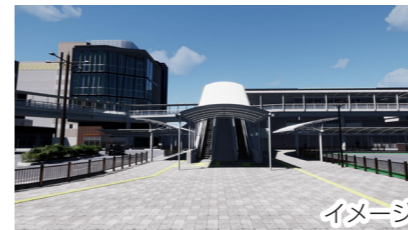
- 全世帯の水道料金の基本料金を申請なしで2カ月分半額★(1億2,606万円)
- 市立小・中学校の給食費4カ月相当分を補助★(4億5,858万円)

事業者

- プレミアム率150%の商品券「スクラム高槻 地元のお店応援券」第2弾の発行★(14億9,341万円)
- 売上減少した中小企業などへ1事業者当たり10万円の事業者応援緊急給付金を支給★(6億3,152万円)

令和3年度の 主な取り組み

新型コロナ対策に全力で取り組みながら、将来を見据えた取り組みを積極的に推進しました。
※表示単位未満は四捨五入



JR高槻駅北駅前広場の整備を推進
1億9,288万円



中学校での35人学級編制の取り組み
3,963万円



老人福祉センターを「すこやかテラス」としてリニューアル
9,299万円



芥川城跡の国史跡指定に向けた取り組み
173万円



高槻城公園芸術文化劇場の整備を推進
79億6,040万円



将棋文化を振興
966万円

都市機能の充実

- 高槻インターチェンジ周辺において、宅地造成や道路・公園整備など行う成合南土地区画整理組合を支援(1億3,262万円)
- 富寿栄住宅建て替えを推進(1億4,234万円)
- 公共施設のブロック塀を計画的に撤去(4億2,923万円)、民間所有ブロック塀の撤去を支援(1,578万円)

安全・安心

- 通学路の防犯カメラ410台の更新、街頭防犯カメラ400台の増設(1,634万円)
- 水害・土砂災害ハザードマップの改訂版を全戸に配布(2,467万円)
- 中消防署富田分署の建て替えおよび多機能型消防団等訓練施設の整備(1,201万円)

子育て・教育

- 子ども医療費助成を18歳まで実施(13億3,916万円)
- 送迎保育ステーション事業を実施(1,830万円)
- 民営化した認定こども園3施設の園舎建て替えを支援(4億6,673万円)

健やかに暮らす

- がん検診を無料で実施(7億6,350万円)

街のにぎわい

- 関西将棋会館の本市移転、建設などを支援(3,897万円)
- 観光協会や商工会議所と連携し、体験交流型観光プログラム「オープンたかつき」を実施(3,000万円)

良好な環境

- 地球温暖化対策として、創エネ・省エネ機器の設置を支援(1,727万円)
- エネルギーセンター第一工場の解体と跡地を利用したリサイクル施設の整備を推進(8億8,722万円)

市民生活

- マイナンバーカードの普及を促進(2億9,941万円)

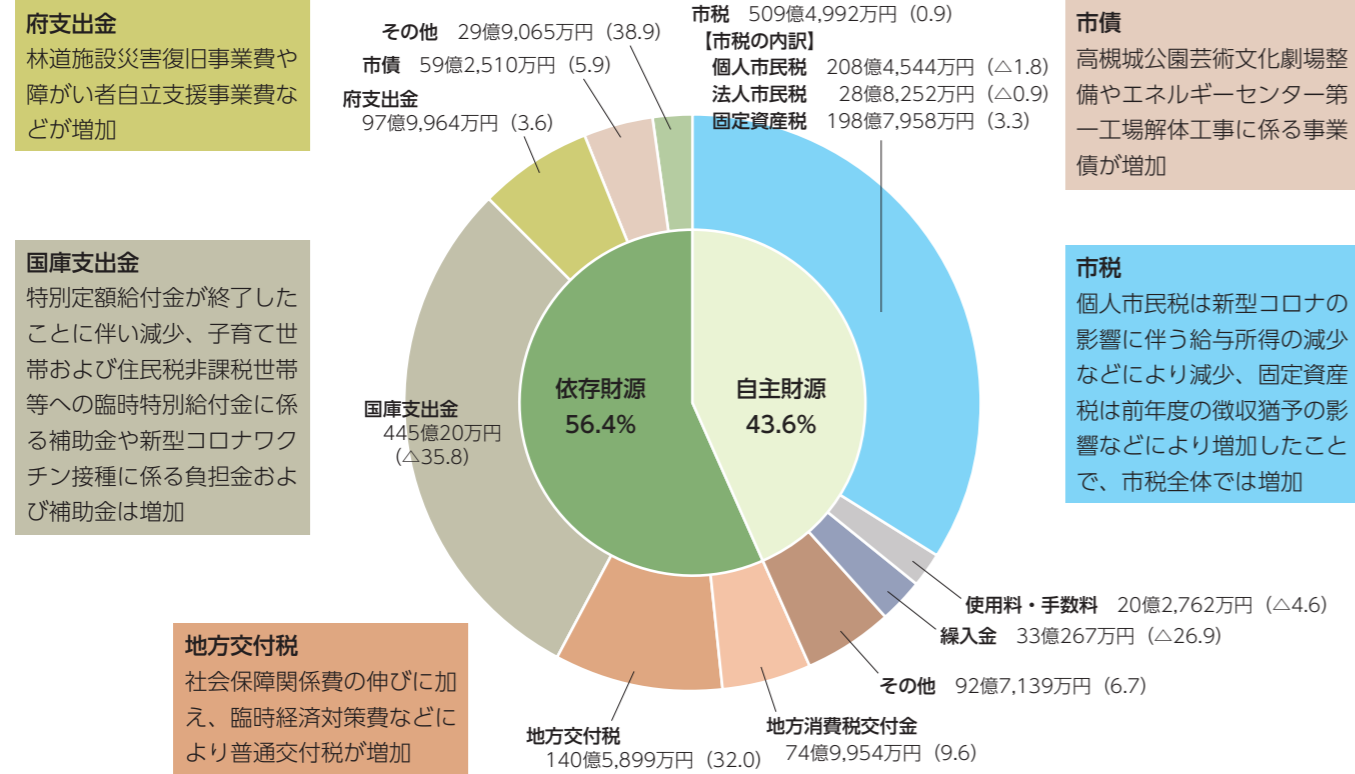
行財政運営

- 市税及び国民健康保険料のキャッシュレス決済を導入(31万円)
- 市ホームページをリニューアルし、発信力を強化(2,459万円)

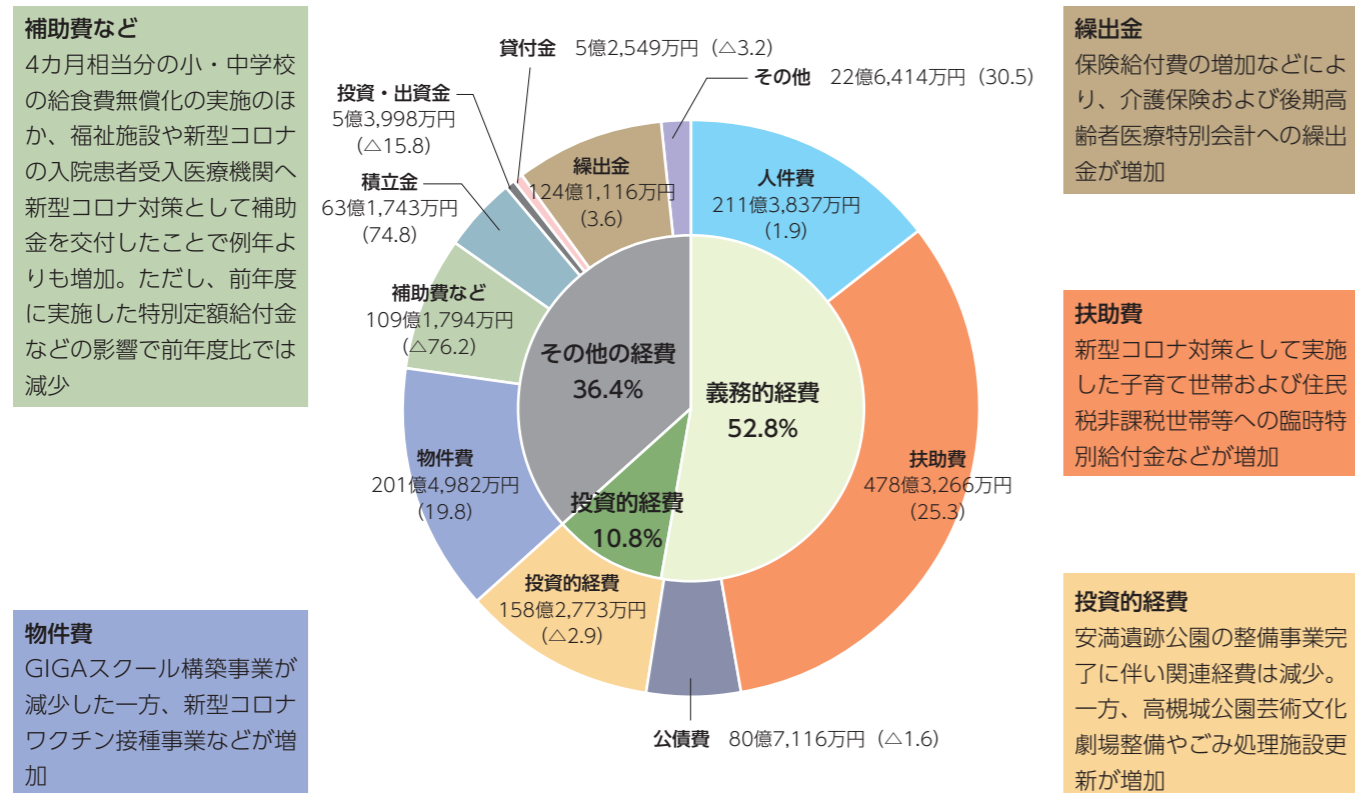
普通会計のグラフ

令和3年度の普通会計の歳入、歳出の内訳です。前年度と比較して増減した主な理由をお知らせします。
 ※カッコ内は前年度比増減率。△はマイナス。表示単位未満は四捨五入

歳入 1,503億2,571万円 (前年度比195億6,342万円減↓)



歳出 (性質別) 1,459億9,589万円 (前年度比186億6,594万円減↓)



公営企業会計

公営企業会計は、地方公営企業法に基づく企業としての経済性を発揮するための会計処理方式で、独立採算制による経営が原則とされています。高槻市の3つの公営企業会計の決算をお知らせします。
※表示単位未満は四捨五入、△はマイナス

水道 水道事業基本計画に基づき、効率的な事業運営へ



水道管の更新工事

収入総額は、61億7,253万円、支出総額は52億3,746万円で9億3,507万円の黒字でした。

今後、管路や施設の耐震化・更新などによる事業費の増加や、人口減少などによる水道料金収入の減少の影響で、厳しい経営環境が見込まれます。将来にわたり持続可能な経営を維持できるよう、水道事業基本計画に基づき、より一層計画的・効率的な事業運営に取り組みます。

問合せ 水道部総務企画課 / Tel674-7952

		(千円)
総収益 A		6,172,529
総費用 B		5,237,457
純損益 A-B		935,072
利益剰余金残高		5,149,907
企業債残高		493,256

主な事業

- 大冠浄水場2号池改修および場内配管整備工事
- 城山第1配水池東側擁壁部対策工事
- 大冠浄水場浄水処理実証実験業務
- 管路布設工事（配水管を総延長457m布設）
- 樫田浄水場高感度濁度計更新工事
- 管路更新工事（配水管を総延長6,846m更新）

下水道 持続可能な事業経営に取り組む



JR高槻駅北駅前広場の
雨水貯留施設の整備

令和3年度の決算は収入総額90億5,044万円、支出総額84億4,556万円で6億488万円の黒字でした。

今後、節水意識の向上による使用料の減収や、老朽化対策などの投資の増加により厳しい経営環境が予測されます。ストックマネジメント計画による事業費の平準化やコスト縮減に努め、持続可能な事業経営に取り組みます。

問合せ 下水河川企画課 / Tel674-7432

		(千円)
総収益 A		9,050,443
総費用 B		8,445,560
純損益 A-B		604,883
利益剰余金残高		1,329,160
企業債残高		33,336,974

主な事業

- 公共下水道整備**
 - 上牧南駅前町で、前島2-6雨水取口の整備が完成
- 地震・老朽化対策**
 - 高槻東幹線で管きょ耐震化工事
 - 災害用マンホールトイレの整備（南平台小学校ほか5校）
- 総合雨水対策**
 - JR高槻駅北駅前広場の雨水貯留施設の整備
- 維持管理事業**
 - ストックマネジメント計画に基づく点検・調査業務

市営バス 費用の削減に取り組むも軽油価格が高騰



ドライバー異常時
対応システム

収入総額は30億4,545万円、支出総額33億3,882万円となり、2億9,338万円の赤字でした。

令和3年度は乗降者数が3年ぶりに増加したものの、新型コロナウイルス感染拡大前よりも依然として低い水準でした。そのため、人件費の抑制や経費の見直しを行い、費用の削減に取り組みましたが、軽油価格の高騰で費用面が圧迫された状況となりました。

問合せ 交通部総務企画課 / Tel677-3505

		(千円)
総収益 A		3,045,445
総費用 B		3,338,824
純損益 A-B		△293,379
利益剰余金残高		2,313,406
企業債残高		0

主な事業

- 全路線で利用実態に応じたダイヤ改正を実施
- 大型バス更新時にドライバー異常時対応システムを搭載
- 小・中学生対象に、長期休暇期間中に乗り放題となる乗車券「おでかけパス」を販売
- 市営バス公式Twitterを開始
- バス車内の換気状況が分かる実験動画を市営バスホームページに掲載
- ベビーカーによる乗車方法を解説した動画を市営バスホームページに掲載